

土木計画学研究発表会で発表しました（2019/6/8-9）

テーマ：土木計画学，避難施設計画，生存時間解析
場所：名城大学ナゴヤドーム前キャンパス（名古屋市東区）
URL：<http://www.jsce-ip.com/conference/index.html?id=29>

6月8日(土)及び9日(日)に、名城大学ナゴヤドーム前キャンパスにおいて、第59回土木計画学研究発表会・春大会が開催され、約800名の参加のもと、190件の口頭発表と、96件のポスター発表がありました。当研究所教員が執筆者の3件の論文発表がありました。各発表者の講演題目等は次の通りです。

【一般論文】

○須ヶ間淳・奥村誠

公共施設更新における平常時の利便性と洪水避難条件のトレードオフ構造

○菅原優志・水谷大二郎・塚井誠人

生存時間解析による都市間旅行発生に関する分析

○細正隆・奥村誠

需要拡大期の都市間旅客交通ネットワーク計画のための最適化モデル

※下線は、当研究所メンバー



須ヶ間淳（被災地支援研究室大学院生）による発表の様子

文責：奥村 誠（人間・社会対応研究部門）